

2015年

5月号



青雲会会報

平成27年度

青雲会総会のご案内

講演会のテーマ

「行動経済学を 実務に活かす」

講師 大阪大学理事・副学長 兼社会経済研究所教授 大竹 文雄 氏

日時

平成27年7月11日(土)
午前10:00開会

10:00 - 10:30 総会議事
10:30 - 11:30 講演
11:40 - 14:00 懇親パーティー

会費

7,000円

(卒業後5年以内 2,000円 学生 1,000円)

ご出席の方は、会費の前納をもって申込みとさせていただきます。
同封の払込み用紙をご利用ください。

■払込み期限 6月26日(金) [必着]

場所

HOTEL, BANQUET & RESTAURANT
Gp 大阪カーテンパレス

<http://www.hotelgp-osaka.com>

大阪市淀川区西宮原1-3-35
TEL 06-6396-6211

新大阪駅より、シャトルバス運行

講演会の講師



大阪大学 理事・副学長 兼社会経済研究所教授
大阪大学特別教授

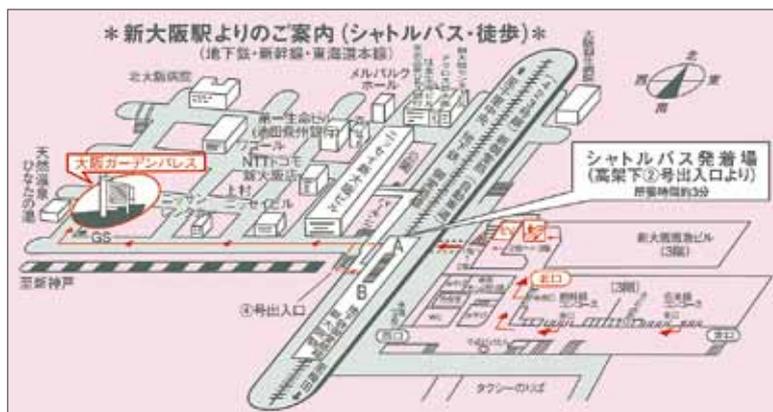
大竹 文雄氏

1983年 京都大学経済学部卒業
1985年 大阪大学大学院経済学研究科博士前期課程修了
大阪大学博士(経済学)
専門:労働経済学、行動経済学

【主な著書】

『経済学的思考のセンス』(2005年、中公新書)
『競争と公平感』(2009年、中公新書)
『経済学のセンスを磨く』(2015年、日本経済新聞出版社) など

2005年の『日本の不平等』により第48回日経・経済図書文化賞、第27回サントリー学芸賞、第46回エコノミスト賞を受賞
第1回 日本経済学会・石川賞、日本学士院賞受賞



■ 青雲会会長 ご挨拶



会長 初谷 勇 (26期)

(大阪商業大学総合経営学部、
同大学院地域政策学研究所教授)

本年4月1日、野村史郎前会長から青雲会会長を引き継ぎました26期の初谷 勇です。多くの優れた諸先輩方がおられる中、図らずもご推挙を頂き、甚だ微力ではありますが、皆様のご協力を頂きながら務めてまいりたいと思います。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

私は、昭和53年に大学を卒業し大阪府に入庁しました。その後、職務と並行し大学院国際公共政策研究科の1期生として待兼山に回帰し、修了後数年を経て、平成17年に行政から大学に転じ、公共経営、公共政策、NPOに係る教育、研究、社会活動に携わっております。

卒業以来、青雲会では幹事の一人として会務を経験させていただきましたが、今回改めて大学と同窓会の歩みを振り返り、近年の大学運営における同窓会の位置づけを見ますと、①組織強化・会員拡充、②新たな連絡・交流促進、③人材育成支援に重点的に取り組むことが大切ではないかと考えております。

今世紀に入り、大学では法科大学院高等司法研究科、国際公共政策学科など組織の新設が相次ぎ、在学生の学修内容や卒業生の進路も多様化しています。また、青雲会の

正会員は約1万1千人に上りますが、卒業生による組織には、会員が1千人を超えた阪大法曹会をはじめ、高等司法研究科同窓会も発足するなど、卒業生が複数の組織を視野に入れ、目的に応じて参加を選択する機会も生じています。

青雲会はこれまでも増して、人的ネットワーク形成の共通基盤として、様々な専攻や進路を選ぶ方々を在学中から会員として懐深くお迎えし、組織を強化していかなければなりません。その際、今の大学・同窓会各組織の配置や特長、相互関係を分かりやすく紹介し、青雲会ならではの規模と会員構成を活かし、多彩な切り口で新たな会員交流の場を設けるなど、青雲会の利活用の価値を身近に感じて頂くことが不可欠です。そこで、今年度、若手幹事の方たちに力を発揮して頂き、時代に即した情報発信機能の強化や、会員交歓を促す新規事業の企画に着手したところです。

また、成功裡に終えられました青雲会60周年記念事業の成果として、「青雲キャリア支援基金」が創設され始動しています。皆様のご厚志によるご寄附が有効に活かされますよう、青雲会としても同基金の運営に積極的に参画してまいります。

さらに、全学的な卒業生連携強化の取り組みに沿うものとして、他の学部・研究科の同窓会との交流・連携事業の推進や、法学部・法学研究科を軸に横断的に展開される社会連携活動の周知にも、学際的・業際的な視点に立って取組みたいと考えております。

—— 皆様には、来る7月の総会に奮ってご出席を賜り、親睦を深めて頂きますとともに、これからの青雲会について、忌憚のないご意見ご提言をお聞かせいただければ幸いです。

■ 青雲会名誉会長 ご挨拶



大阪大学大学院法学研究科長
大阪大学法学部長

竹中 浩

日頃は、法学部・法学研究科に対してお力添えをたまわり、ありがとうございます。厚くお礼を申し上げます。

現在、大阪大学をはじめ、日本の国立大学は大きな変革のただなかにあります。平成28年度から始まる第3期中期目標期間においては、グローバル化とイノベーションという時代の要請に応えるため、抜本的な改革を求められています。伝統的な国立大学のありようとどまることはもはや許されません。厳しい時代ですが、飛躍のチャンスでもあります。このたび、大阪大学は文部科学省・日本学術振興会の推進する「スーパーグローバル大学創成支援」において、トップ型13校の一つに選ばれ、国の重点的な支援を受けることになりました。グローバル化の時代に、日本を牽引する大学としての役割を期待されているということです。

大阪大学は、世界に知られた研究型総合大学「世界適塾」となることをめざしています。これからは、法学部・法学研究科も、研究型総合大学のなかの法学系教育研究機関として、伝統的なスタイルの活動から脱皮し、国の内外から注目されるよう、グローバルな魅力と発信力を高めていかなければなりません。OBのみなさまが胸を張って母校の発展を語れる

よう、私たちも全力を尽くしてまいります。ご支援のほど、どうかよろしく願い申し上げます。

■ 国際公共政策学科長 ご挨拶「同窓会のこと」



国際公共政策学科長
村上 正直 (28期)

ここ数年歳のせいか、最近まであまり関心がなかった同窓会にがぜん積極的になっています。過去を共有している、かつての仲間たちと、あの時間にもう一度浸りたいと思う自分がいます。

これは、個人の感傷でしょうが、国際公共政策研究科長、法学部副学部長となった時から、大学の同窓会についてより意識するようになったこともあります。大学の教員の仕事は、主に研究・教育・社会貢献です。論文の執筆・講演といった研究と社会貢献は、その成果を比較的短時間で示すことができますが、教育の効果は、そう簡単にはわかりません。ある人がある程度の地位についたり、やりたい活動ができるようになり、そこに大学での教育が寄与している時に初めて、その成果を語るができると思います。同窓会とその活動は、それを示してくれる貴重な機会だろうと思います。

また、大阪大学の総合力を高めていくためにも同窓会は重要で、事実、大学は同窓会の一層の活性化を図ろうとしています。現役学生にとっては、同窓会は大学と社会を結び付けるものですし、社会における先輩、後輩の関係は独特です。さらに、それぞれの組織や分野において中核メンバーとして活動している大阪大学の卒業生・修了生を大学全体の資産として、より

積極的に活用することができれば、大阪大学の総合力は強化されます。

青雲会の活動は重要で貴重であり、より一層の活性化と発展を期待する所以です。

■ 高等司法研究科長 ご挨拶



高等司法研究科長
三阪 佳弘 (31期)

昨年度は、本研究科創設10周年、法学研究科創立60周年を記念し、多大なるご寄付を頂戴しありがとうございました。法経講義棟の整備とともに、「青雲キャリア支援基金」を創設することができました。学生たちが「10年後の自分」を豊かにデザインできるようなキャリア支援・教育の充実のために、有効に基金を使わせていただきます。

さて、法科大学院制度は、その教育の先進性、優位性を示すべく様々な教育改革の取組みを求められています(いわゆる「公的支援見直し加算プログラム」)。本研究科は、昨年度同プログラムに応募し、本学法学部と連携した教育改革、Web上のシステムを利用した手厚い学習支援、そして先端的法曹養成教育の取組み(「智適塾」)が高く評価され、予算増を獲得することができました(詳細については文部科学省HP同プログラムの審査結果参照)。同プログラムは今年度も行われることが決まっており、秋の応募に向けて現在準備を進めているところです。

本研究科が法科大学院としての教育の高度化を進める際には、昨年掲げましたように、「大阪大学ならではの法科大学院」としての特色を打ち出そうと考えています。それを可能にするものは、本学法学部・法学研究科との緊密な連携です。そしてもう一つの基盤が、両機関から輩出されてきた数多くの優れた修了生の皆さまです。本研究科が「大阪大学ならではの」教育展開を進める上で、皆さまのお知恵とお力は不可欠です。

法科大学院制度が新たな曲がり角を迎えるなか、高等司法研究科は新たな展開を展望しようと邁進しております。青雲会の皆さまには、引き続き温かいご支援をいただきますとともに、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

大阪大学法曹会よりのお知らせ

1. 平成26年度 行事報告

- | | |
|----------------|--------------|
| ① 後援基金に対する資金援助 | 80万円 |
| ② 合格祝賀会の開催 | 平成26年10月20日 |
| 大阪弁護士会館にて実施 | 合格者55名参加 |
| ③ 就活懇談会 実施 | 祝賀会と同日に実施 |
| ④ 大学との懇談会 | 平成26年5月15日実施 |

2. 平成27年3月31日現在の会員数

大阪弁護士会	486名	ついに会員数が1千人を
首都圏弁護士会	121名	超えました。
その他弁護士会	234名	
判事・検事	118名	
教員	63名	
計	1022名	

3. 役員

若い人のご意見を承ってゆきたいと考え、若手役員を増員いたしました。			
会長	森信 静治		
副会長(会長代行)	三木 秀夫		
全(事務局長)	福田 健次		
監査役	室谷 光一郎		
幹事	三成 賢次		
的場 悠紀	宿 敏幸	野村 務	中川 清孝
出水 順	岩本 洋子	三阪 佳弘	壇 俊光
岡本 仁志	名津井 吉裕	吉村 信幸	菅 聡一郎
坂川 雄一	中川 正義	松井 圭子	
事務局	堂島法律事務所	06-6201-0444	
事務局分室	青雲会 内	06-6850-5198	

■ 平成26年度 青雲会60周年記念総会報告

日時：
平成26年7月19日(土)
13:00開会
13:00—13:30
総会議事
13:35—14:15
講演 1
14:20—14:50
講演 2
15:00—17:00
懇親パーティー
場所：太閤園



講演1 テーマ：
「薬局から始める地域医療イノベーション」
「高齢化が進む日本の医療制度への提言」
講師：狭間 研至氏
(ファルメディコ株式会社 代表取締役社長)



講演2 テーマ：
「報道について思うこと～ゆがむ事実像」
講師：三木 秀夫氏
(30期 前青雲会会長)

平成26年度の青雲会60周年記念総会は90名の会員の皆様にご出席いただき、盛会のうち総会を終えることが出来ました。

会務・会計報告、会計監査に係る報告が行われ、いずれも承認を得ました。野村会長が新年度予算を発表するとともに会費規程の改定が提案され承認を得ました。そして野村会長が竹中法学部長に60周年寄付金の贈呈を行いました。

講演1では、狭間社長から「薬局から始める地域医療イノベーション」と題して、阪大医学部を卒業してから外科医として異種移植をテーマとした研究及び臨床に携わるとともに家業である薬局業務について、薬剤師はこれなのか、地域医療はどうなるのか、の問題意識を持ち、薬害根絶、多剤併用回避の医薬分業の原点から門前頼みの薬局から脱却して薬局に通えない要介護の高齢者へ薬剤師が薬の配達をし、老人介護施設へ向うことにより患者の懐に飛び込み、薬の専門家として医師に患者の状態等を伝え医療全体のレベルを上げていくことを目指しているとの力強いお話をいただき、聴衆一同深い感銘を受けました。

また講演2では、30期の三木弁護士から「報道について思うこと～ゆがむ事実像」と題して過去に弁護士として担当した高級料亭女将事件やホテルでの食品偽装問題のマスコミ対応の経験を基に、現在激しく動いている論文不正問題の担当弁護士として見たマスコミの問題点を、渦中にある女性研究者の人権を守ると言う点から自身もマスコミ等に翻弄されながらも冷静に分析・対応されていて、未だ論文不正問題は解決の半ばにしか到達していない旨認識を示され、大変示唆に富むお話を頂きました。

懇親パーティーは司会者から本日ご列席いただいた来賓の方々をご紹介し、4期の塚口氏の乾杯で始まり、軽音楽部の演奏でパーティーの雰囲気盛り上がりしました。

その後東京支部長杉政氏及び名古屋支部長平野氏からそれぞれ支部の活動報告が行われ、続いて、青雲会懸賞論文1席受賞者紹介、留学生奨学金授与者紹介・報告が行われ、盛会のうちに山本副会長による中締めとなり、恒例の大阪締めを披露してお開きとなりました。

■ 卒業修了祝賀会

3月25日(水)、卒業式があり、法学部法学科より174名、国際公共政策学科より75名、法学部計249名、法学研究科より56名の合計305名が卒業されました。

卒業修了祝賀会は、竹中法学部長の祝辞と村上国際公共政策学科長の乾杯で懇談に入りました。

その後青雲会懸賞論文の入賞者表彰式を行いました。野村会長から1席の富田晃史外5名(公4)を始め2席1名、佳作2名の合計4名が表彰され、卒業生の皆さんから祝福を受けられました。

この会は、青雲会が主催ですが、当日の運営は法律相談部・法学研究会を中心に法学部の文化サークルに所属する学生が行い、今年もビンゴゲームで盛り上がりました。当日の飲み物(ビール)はサントリーグループの(株)ダイナックさんにご寄贈いただきました。お礼申し上げます。

当日の参加者は先生方を含め182名の沢山の参加となり、記念写真の撮影が3つに分かれることになりました。



60周年記念事業最終報告について

平成25年度及び平成26年度の60周年記念事業についてご報告します。

平成27年3月31日現在

寄付者総数 498名

寄付金総額 13,802,250円 をご寄付いただきました。

会員の皆様のご協力ありがとうございました。

支出の明細は以下のとおりです。

・60周年記念事業	
法経講義棟設備(プロジェクター等)	2,850,000円
・青雲キャリア支援基金事業	
会員管理システムの改善	691,200円
その他キャリア支援事業	187,260円
・一般経費(郵送料、未来基金管理費用等)	1,317,863円
合計	5,046,323円

その他収入として銀行口座利息173円の入金がありますので
青雲キャリア支援基金残高は 8,756,100円 でございます。

青雲会、法曹会及び大学は青雲キャリア支援基金を平成26年4月1日に設立し、後同基金運営委員会により学生のキャリア支援を目的に管理運営しています。



法経講義棟 1階
第2番講義室(プロジェクター等整備)



「恩師を囲む会」

「戸塚先生を囲む会」

平成26年8月30日(土)にホテルグランヴィア大阪において参加者11名で開催しました。

青雲会 役員

任期：平成27年4月1日～平成29年3月31日

平成26年度決算報告と平成27年度予算(概要)

(単位:千円)

役職	氏名	期	担当(*:主担)
名誉会長	竹中 浩		
会長	初谷 勇	26期	
幹事長	三輪 省三	旧制1期	
副会長	山本 茂伸	22期	・総会*、・組織強化(総務)
副会長	松井 繁幸	23期	・青雲塾*、・新規事業企画
副会長	片岡 和行	24期	・組織強化(総務)*
副会長	松本 克己	26期	・総会*、・就職支援
副会長	野村 史郎	27期	・組織強化(正会員・特別会員)*、・就職支援
副会長	西井 秀行	36期	・組織強化(準会員)*、・就職支援*
副会長	嶋津 裕介	45期	・新規事業企画*
副会長	堀木 由紀	46期	・懸賞論文審査*、・新規事業企画
幹事	(各期)		
	うち特に担当を委嘱する幹事		
	西畑 一哉	27期	・懸賞論文審査
	川上 良	39期	・懸賞論文審査
	渡邊 真理子	39期	・情報発信機能強化*
	石黒 陽子	49期	・青雲塾、・情報発信機能強化
会計監査	西村 元昭	14期	
会計監査	松本 綾	40期	

収入の部			支出の部		
項目	平成26年度 決算	平成27年度 予算	項目	平成26年度 決算	平成27年度 予算
会費収入	6,023	6,000	総会費	767	700
総会懇親会収入	610	505	会報費	2,150	2,170
その他収入	305	205	ソフト保守費	389	390
			支部助成金	420	420
			ローヤリング助成金	300	200
			一般助成金	221	240
			懸賞論文	237	270
			留学生奨学金	450	0
			司法基金援助金	400	300
			塾・部活動費	98	150
			新規事業	0	200
			人件費	983	600
			その他経費	940	1,070
収入計	6,938	6,710	支出計	7,355	6,710

収支差額	△417	0
前期繰越金	4,379	3,962
次期繰越金	3,962	3,962

※本案は総会でご審議いただきます。

事務局

事務局長	黒田 嘉次郎	18期
------	--------	-----

■ 平成26年度青雲会行事報告

平成26年度の青雲会行事の概要は下記のとおりです。

1. 総会

平成26年7月19日(土)太閤園にて開催いたしました。詳細については、4ページの報告をご覧ください。

2. 留学生への奨学金付与

本年度は、キョ インシンさん(中国出身)に決定いたしました。なお、キョさんのことについては、9ページの座談会をご覧ください。

3. 懸賞論文

今年は18名から応募があり、以下のとおり決定しました。各受賞論文は青雲会HPに掲載しておりますので、ご覧ください。

- 1席** 富田 晃史(公4) 外5名
「煙依存者の社会経済的特徴
～真に幸せな喫煙を実現する社会へ向けて～」
- 2席** 中山 真緒(公4) 外1名
「幼児教育が学力に与える影響」
- 佳作** 木村 明日架(法4)
「東京23区における保育所の待機児童対策としての有効性」
- 佳作** 竹村 瀬(法3)
「住宅政策の大阪都市圏における影響」

4. 幹事会

4月23日、6月23日、9月10日、12月1日、2月23日に開催しました。参加人員は毎回30名前後の幹事が出席し、青雲会の運営方針を決定しています。

5. 法経OB・OG交流会

今年も11月15日(土)午後2時～6時40分 豊中総合学館において経済学部同窓会と共に学生の就職支援を図るための法経OB・OG交流会を開催しました。当日参加した卒業生は30名でその内法学部は15名、学生は26名でその内法学部は5名でした。法学部生がもっと多く参加できるようPRに努めます。

6. 青雲キャリア支援基金講演会

今年から青雲会創立60周年記念寄付金を基に法学部と設置した青雲キャリア支援基金が法学部生のキャリア形成支援を行うための講演会(講師 山中健児弁護士、中島 敬方近畿大学教授)を12月12日(金)午後2時40分～5時50分 豊中総合学館において開催しましたが、参加学生が20名に満たませんでした。今後はカリキュラムに工夫して参加学生を増やします。

7. 卒業修了祝賀会

今年も準会員であった学生を正会員として迎える青雲会主催の記念パーティーを、3月25日に開催しました。詳細については、4ページの報告をご覧ください。

以上

同 期 会 開 催 報 告

11期生同期会 開催報告



11期生は毎年、同期会を行っています。例年関西地区での開催が多いのですが、今年は久しぶりに横浜で平成26年5月22日と23日の2日間わたって行いました。

同期生23人が横浜・中華街の重慶飯店(ローズホテル)に集まり、22日は懇親会及び2次会で夜遅くまで歓談、翌23日は観光バスでランドマークタワー、港の見える丘、大棧橋国際客船ターミナルなどを見学しました。昼食も飲茶なので2日間、中華料理漬けでしたが概ね好評でした。

同期生の殆どが後期高齢者の仲間入りとなり、この同期会もいつまで続けられるか分かりませんが、とりあえず来年は関西で5月21日、22日に行くことを決めました。(土田 裕・記)

昭和29年入学同期会 開催報告



2015年2月19日『昭和29年入学同期会』が大阪梅田の関西文化サロンで開催されました。

今回も東京や岡山などの遠方からも同期生が駆けつけてくれ昨年を上回る23名の顔が揃いました。入学以来60年を超えてしまいましたがい出話や近況報告などであつという間に時間が過ぎました。来年も2月18日(木)に同じ場所で再会すること約し散会しました。

新制6期 芳村 昭宏

昭和47年入学同期会開催報告



12月20日(土)大阪駅前のヒルトンプラザ内「たちばな」で昨年に引き続きS47年入学者の同期会が開かれました。

昨年は48名の参加でしたが、今年は初参加10名を加えて36名が参加しました。女性も4名参加です。北は千葉から南は長崎から駆け付けた参加者は昔を懐かしみながらも現在頑張っていることなど披露してお互い刺激あいました。今後は徐々に参加者を増やしていきたいと思います。

次回は大阪では2015年12月19日(土)13時から、場所は大阪大学内で行うことが決まりました。東京では2015年6月20日(土)夕方行います。今回集まれなかった方も参加ください。

幹事は1組片岡、2組西尾、3組細井、東京幹事鈴木です。

新制12期生同期会開催報告



さる4月19日(土)12時から、天満橋、大阪キャッスルホテルの中華料理店「錦城閣」にて新制12期生の同期会を開催いたしました。今年で母校卒業後50年～半世紀～が経過。

同期会の形ではフィナーレになるでしょうか、近畿、関東、中部、西は岡山等各地からも旧友20名が参集。中には卒業後50年振りに出席した同期生もいて、懐かしく肩をたたき合って、旧交を温めました。

会は各自近況等を報告しあったあと余興タイムにはいり、カラオケで自慢ののどを披露、サクソやフルート等趣味の楽器での名演奏もあり、予定の3時間半はあつという間に経過。最後に母校の全寮歌、学生歌で氣勢を上げ、各人の健康と母校のさらなる発展を祈念し、賑やかに楽しく有意義な12期生最後の同期会を開催いたしました。

(文責 12期山田)

同期会の開催報告

青雲会は皆様方の同期会の開催を支援しています。

- ・ 入学同期の会員情報の基礎データを提供いたします。
- ・ 同期会の開催案内と開催結果報告をHPに掲載します。
- ・ 同期会幹事の方は事務局にご一報ください。
- ・ 新判明会員情報を事務局にご連絡願います。

東京支部だより

東京支部長 杉政 静夫(21期)



東京支部 連絡先

〒160-0004
東京都新宿区四谷1-9 天龍ビル5F
杉政静夫法律事務所内
TEL 03-3355-6575 FAX 03-3355-6576

過去1年間の活動報告をします。春(5/28)の合同講演会は経済学部同窓会(待兼会)東京支部の企画で講師は慶応大学教授土居丈朗氏でした。演題は「消費税増税後の日本財政」。「社会保障・税一体改革」の内容から医療制度、介護保険及び年金制度が如何に税金に支えられているか。経済成長を阻害せずに、如何に税収を確保すべきか話されました。(場所は学士会館、参加者約60名)秋(11/24)は青雲会総会と同時開催となるので、当方が主催で講師は日本政治学会理事長の辻中豊氏(法学部新制24期)にお願いしました。演題は「市民と政治の間を調査するーエピソード編」(場所は日本教育会館、参加者は約70名)世界15カ国における市民社会の現状を説明されながら、日本の地域の社会生活や多様なネットワーク(たとえば町内会など)は世界に注目される制度遺産であるなどの話を頂きました。

この二大イベントの準備のために幹事会を5回行いました。幹事の皆様の献身的な努力が支部を支えています。有難うございます。

その他では年2回の青雲会ゴルフコンペ(場所はデイスターとアスレチックGC)、年2回の待兼会と工学部の合同コンペ(場所は昭和の森GC)を実施しています。関東に在住の会員の皆さん是非ご参加ください。

名古屋支部だより

名古屋支部長 平野 修義(10期)



名古屋支部 連絡先

〒464-0058
名古屋市中昭和区八事富士見1304
中嶋 利幸
TEL&FAX 052-834-0607

26年名古屋待兼会活動状況

経済学部同窓会と協力して「名古屋待兼会」を運営、参加者は延べ104名でした。

2,4,6,9月の例会では「細井平洲と上杉鷹山」「ガンにならない食の秘訣」「オカリナ演奏」「メキシコへ国際協力に出かけて」の各テーマで参加者の30分スピーチがありました。スピーチの後は約2時間 酒食、懇談、雑談を楽しみました。本年は参加者全員が近況報告することになりましたが、オカリナの伴奏で「ふるさと」を全員で合唱も。

11月15日の総会には、経済学研究科長、経済学部長の大西匡光先生に御出席頂き、「法人化10周年」「スーパーグローバル大学」「適塾」など母校の現状についてお話いただきました。大西先生と高校が同級の参加者、お子さん連れの参加者など和やかな雰囲気の中で総会を終える事が出来ました。(写真)

永らく支部長を務めました平野は本稿を持って退任、後任は新制19期の中嶋利幸さんをお願い致しましたので宜しくお願い致します。

囲碁同好会へのお誘い

「囲碁同好会は、毎月第2土曜日の午後中之島の青雲会交流センターで例会を開いています。腕に覚えのある方、認知症対策をお考えの方、家で粗大ゴミ扱になっている方その他諸般の事情のある方ご参加ください。



お問い合わせは TEL:06-6339-7747

幹事 山口 勝之(13期)まで メール:esakalawoffice@gmail.com

「白球を追って」青雲会 ゴルフコンペ

「青雲会」ゴルフコンペ 年2回開催(5月・11月)ぜひご参加を(詳細は事務局へ)

20年・30年ぶりに懐かしい同窓のメンバーが顔を合わせ、冗談を交わしながら、お互いの健康を喜ぶ会です。

新しいメンバーの多数のご参加をお願いします。

参加ご希望の方は、

「青雲会」事務局
(06-6850-5198)

までご一報ください。



第15期 青雲会奨学生(法学部留学生) 座談会

平成26年度の青雲会奨学生は、中国出身のキョ インシンさんです。
野村会長からお話を伺います。(松本綾副会長同席)

野村 阪大法学部の同窓会である青雲会は、海外からの留学生を少しでも支援しようと、15年前から奨学金支給制度を実施しています。今年は中国出身のキョ インシンさんです。中国のどちらの出身ですか。

キョ 上海市から来ました。

野村 そこでの生活、ご家族の状況などを簡単にお話ください。どういふことで、日本の大阪大学に留学されるようになったのですか。

キョ 両親と私の3人家族です。高校ではロシア語学部に入っていました。ピアノとダンスのサークルにも入っていました。高校を修了する時に日本に留学しに行くことを決めました。日本に来る前に、すでに大阪大学法学部国際公共政策学科に興味を持っていました。これを目指して、大阪で1年間半日本語学校に通い、日本語を勉強し、その後大阪大学の入学試験に合格したのです。

野村 大学では何を専門に研究されますか。語学はどのような勉強をされていますか。

キョ 大学では主に政治と法律の知識を勉強しています。法律が論理的に考えるベースになっていると思います。そして、ゼミで地域紛争とメディアの関係を研究しています。自分が先進国と発展途上国の間の対立および協力に関心を持っていますので、今後、それを専門にし、研究していきたいと思っています。言語ができないと何もできないと思います。将来国際的な場で働くグローバル人材になることを目指し、言語の勉強



にも力を入れています。今年の9月からアメリカのカリフォルニア大学に1年間交換留学する予定です。

野村 卒業後の進路をお伺いします。

将来はどういふお仕事に就こうと考えておられますか。

キョ 先進国と発展途上国との調整を行う国際機関で働きたいと思っています。特に日中米三カ国の間の協力に関する仕事をやりたいです。

野村 現在アルバイトをされていますか。

キョ 今は衣料品専門店でアルバイトをしています。接客しながら、お客さんを助けるのもできることを非常に楽しんで仕事をしています。以前はコンビニでした。

野村 日本の料理は好きですか。

キョ とても好きです。特に焼き魚と温泉卵が大好きです。

野村 本日はお忙しいところに来て頂いて有難うございました。青雲会としては、今後とも勉強されてご活躍されることを願っています。今年の総会は7月11日(土)に開催しますので、是非ご出席ください。

キョ はい、出席させていただきます。

“青雲塾”へいらっしゃい!

青雲塾担当 松井 繁幸(23期)

青雲会会員の他、会員の紹介のあった人もご参加大歓迎です。講師の自薦・他薦、企画の持ち込みも。事務局から案内をお送りしますので、是非、ご連絡ください。次回の案内もホームページをご覧ください。過去の実績も掲載しています。

<http://www.seiunkai.net/kouryu/seiunjuku/>
なお、昨年度の開催内容は次のとおりです。

2014年

5月31日(土) 「新緑の能勢で、小話(今の社会と若者)と
“いちご狩り”」

講師 加堂(かどう) 裕規(やすのり) 氏 (23期)

★学生達から「かばえる先生」と慕われる加堂講師が亭主となり、お宅でまずはいちご狩り。酒米提供の能勢の銘酒「秋鹿」に土地の野菜の美味礼賛。

7月29日(火) 「空襲は怖くない、逃げずに火を消せ

防空法と大阪空襲訴訟」

講師 大前 治 氏 (42期 弁護士)

★「なぜ、多くの空襲被害が生じた」、「東京大空襲3日後の大阪大空襲、なぜ大阪市民は逃げなかった」そうした疑問から始まった「防空法」の研究。

11月29日(土) 「万葉を歩く 第4回 ~恭仁京(くにきょう)・山河のさやけき見れば~」

講師 森内 賢一 氏 (18期)

★雨も恭仁神社で昼食をとっているうちに日が差して。雨上がりの、少し霧に煙る風景を楽しみながら、古代の都があった往時を偲びました。

2015年

2月14日(土) 「お茶を一服いかがですか

一八尾 八笙庵 で茶会を楽しむ」

講師 松井 美智子 氏 (茶道裏千家 教授 茶名 宗美)

★塚口純行氏(4期)の茶室で、「桃林堂」主菓子に、濃茶には青雲会の名にちなんで一保堂の最高級茶 茶銘「青雲」を選びました。点心は創業150年を超える「山徳」のお料理。



茶銘「青雲」で
お茶を点(た)てる
静寂と緊張のひととき
(八笙庵)

活躍する卒業生 I

深海の静寂と 情熱の日々

司法書士法人勤務
酒井 將治 (27期)



私は、まだ東西冷戦真只中であった昭和五十四年に阪大を卒業し、広島県江田島にある海上自衛隊幹部候補生学校に入校し、三十三年に及ぶ海上自衛官としての勤務をスタートさせた。

その後の海上自衛官としての勤務は多岐にわたり、人事、広報、音響情報分析、法務などの各分野において勤務し、防衛省海上幕僚監部首席法務官という法学部出身者らしい職を最後に退官したが、最も情熱をもって仕事に打ち込んだのは、四十歳代前半までの約二十年間のうちの主な部分を占めた潜水艦部隊での勤務であった。

以下、艦内の生活を少し紹介する。

艦内の蚕棚のような三段ベッドは一人分の高さが六十センチほどで、もちろん起き上がることはできず、寝返りを打つのがやっとである(個室があるのは艦長ただ一人)。それでも、その六十センチの空間は艦内で唯一のプライベートな場所。ベッドに転がり込んだ瞬間のホッとした感覚が今も忘れられない。

外界から全く隔絶された潜水艦での楽しみは、食べることと若干の娯楽である。ただ、娯楽といっても、音を発生させるものは御法度であるから、トランプか読書などに限られる。運動する場所もほとんどなく、また、音を立てられないから、腕立て伏せや腹筋運動が精々である。シャワーは三日に一度が原則。もちろん湯舟などはない。造水装置を積んではいるが能力に限りがあり、水は貴重なのである。シャワーレットの出現を最も喜んだ人種は潜水艦乗組員ではあるまいか。

汚い話のついでで申し訳ないが、潜水艦の艦内は臭い。密閉された空間において汚水、汚物を処理する関係上、臭気が艦内に満ち溢れるのである。このため、身体や衣服に臭いが染み付き、長期の行動を終えて帰港し、洗濯ものを詰めたバッグを持って電車に乗れば、周囲の乗客が知らぬ間に離れていくということも度々であった。もちろん、家族のものとは別に洗濯機に入れら

れ、二度洗いは必須であった。ただ、最近は脱臭技術が進み、これほどのことはなくなったようである。

充電のためにエンジンを回している時以外、艦内は「静寂」の一言。隠密性の追求で、極限まで雑音発生を抑えているのが潜水艦であり、艦内の雑音発生は固く禁じられている。誰かが誤って物を床に落とせば、落下音が艦内に響きわたるという状況である。そのような静寂の中で過ごすことにより、日ごろは煩悩だらけの自分が、潜航日数を重ねるごとに、純粋な人間になっていくような気がしたものである。

任務を終えて母港に入港する日の朝、浮上。〇〇日ぶりの新鮮な空気を胸いっぱい吸い、家族に会える喜びとともに、地上の喧騒と諸々の面倒なことが再び現実のものとなることによる、ある種の憂鬱を感じながら東京湾を北上し、横須賀に向かっていった。

このような行動を何回も繰り返しながら、艦内における職務上の責任は徐々に重くなっていった。そして、私が潜水艦「たけしお」の艦長の職に就いたのは平成九年。この間、世界情勢は大きく動き、すでにソ連は崩壊していた。

私は約三年前に退官し、平穏な生活を送っているが、今も何処かの海中で勤務に励んでいるであろう先輩たちの安全を祈るとともに、世界の平和を願っている。



活躍する卒業生 II

公益最大化に向け
チャレンジ継続中

在 勤:日本貿易振興機構(ジェトロ)サンフランシスコ事務所
所属元:大阪府府民文化部都市魅力創造局国際課

山田 将義 (48期)



「人間としての自己の存在を自覚し、生きていたことの証しを残して生涯を終われ」

「医師は人間の物理的生命を救い、法曹は人間の社会的生命を救う」前者は中高の創設者の言葉、後者はゼミの恩師國井先生の言葉です。

私は、1992年4月に入学しました。しかし、子供のころからの夢だった医師への道をあきらめて法学部に入学したことに、内心忸怩たる思いがありました。そんな中、國井先生のお言葉に触れ、蒙を啓かれ、法曹の道を志しました。しかしながら、世間にも還元せぬまま馬齢を重ねる浪人生活の中で、一日も早く何かしら役に立ったと実感したい、という焦りが高まってきました。そんな中、社会正義の実現や社会的生命の救済は、ただ法曹のみではなく、行政やマスコミという手段もあるのではないかと考え、最後と決めた司法試験と同時に大阪府への願書を提出し、2002年4月、28歳になる年に、ご縁あって大阪府庁に入庁しました。

自治体のウェブサイトで見たい方は少ないかもしれませんが、行政体は、あらゆる機能が公益のため、社会のために組織されており、自分の仕事が誰かの迷惑になることを心配しなくて良い組織です。また、どれだけ失敗してもクビにならないのを奇貨とするならば、前例に囚われず、常に公益を最大化するためチャレンジができる組織でもあります。

交通道路室に配属された際は、公共駐車場管理に、府としては初めて民間事業者を導入しました。当時はまだ珍しかった成功報酬型インセンティブで複数年契約とすることで、大きく収入を伸ばしました。また用地室に異動後、その応用版として、府有未利用地を組織横断で洗い出し、空き地から収入を得る取り組みの立ち上げに関わりました。様々な関係省庁や利害関係者等と調整を重ね、コンビニやコインパーキング等に事

業用定期借地等で貸し出し、ただの空き地から何億もの財源を生み出すことができました。物騒で見苦しい空き地が便利になったと周囲の方にも喜ばれ、地元自治体にも幾分かの金銭的還元も行い、頂いた財源は橋梁の予防保全など維持管理に使われて現在も継続しています。

人より遅れて入庁し、天下りなど今は昔のことですので、あくせく上を目指しても生涯年収など大きく変わりません。それよりも、与えられた職責の中で、自分のできる公益の最大化にチャレンジしていきたいという気持ちが私の原動力です。

現在は、大阪府からジェトロ(日本貿易振興機構)への派遣第1号として、この4月から1年間サンフランシスコに赴任し、様々な企業の貿易や海外進出などのお手伝いをしています。市内から近郊のシリコンバレーにかけては、グーグルやフェイスブック、ツイッターなど名だたる巨大企業が集積し、次なるグーグルを目指す起業家など、世界中からヒトモノカネを吸引していますが、日本からの進出企業はまだまだ少ないのが現状です。

シリコンバレーに限らず、優れた技術や製品を持ちながらも、海外展開のきっかけが無く、規制や認証取得、知的財産保護、言葉の壁など、うまく商談が進められないがゆえにお困りの企業さんはまだまだ多く、お手伝いできることは多いと思っています。何かありましたら、どうぞ遠慮なくジェトロサンフランシスコ事務所又はメール(Masayoshi_Yamada@jetro.go.jp)にてご連絡ください。

最後になりましたが、同窓の皆様が各方面でご活躍されていることが、私にとって大きな刺激・励みになっています。今後も、ご活躍をお祈り申し上げますとともに、ご指導のほどよろしく願いいたします。

青雲会からのお知らせ

同期会や同窓会をしませんか!

会員管理システムをリニューアルしました。

事務局での
会員検索が
便利に
なりました

1. 各会員の入学年度を追加しました。
2. 各会員の出身ゼミを登録しました。
3. 国際公共政策学科の学科登録を完了しました。

ぜひ同期会、同窓会や、
また恩師を囲んで出身ゼミ毎の
同窓会開催などにお役立てください。

- 入学年度での同期会の開催
- 出身ゼミごとの同窓会の開催
- 居住地やエリアごとの同窓会の開催
- 勤務先内での同窓会の開催
- その他にも、出身校や出身都道府県ごとの
同期会、同窓会開催などにご利用頂けます。



懐かしい恩師や友との再会、
より多くの同窓生との交流に
ぜひご利用ください!!



ぜひ事務局までお問い合わせください。

TEL.06-6850-5198

青雲会事務局
黒田嘉次郎(18期)

【青雲会事務局】

事務局は、大阪大学豊中キャンパス(石橋)、大学院法学研究科棟2階にあります。
月・水・金曜日の午前10時～午後4時(11時30分～12時30分昼休み)に在室しています。
会員の皆様のご連絡をお待ちしております。

大学からのお知らせ

『行政研究会』—官公庁との連携とキャリア支援—

行政研究会は、2015年4月に新たに発足しました。法政実務連携センターのこれまでの実績とリソースを活かし、

1. 官公庁関係者等と本学の連携強化
2. 大阪大学における官公庁志望者のキャリア支援を行います。

【今後の活動予定】

- ① 官公庁関係者と学生会員、教員等との懇談会
- ② 官公庁関係者による特別講演会の開催
- ③ 官公庁出身教員による学生会員へのアドバイス

◎現在、新規の会員(会費無料)を募集しています。

大阪大学の卒業生、教職員、現役学生は学部、研究科を問わず、どなたでも入会申請できます。

入会申し込み先

行政研究会事務局(大阪大学大学院法学研究科附属法政実務連携センター内)

<http://www.law.osaka-u.ac.jp/clpp/>

TEL:06-6850-5173 FAX:06-6850-5146